

2021年11月02日

## 森林環境教育 川崎町立真崎小学校

(6年生19人:クラフト作り・メッセージカード作りと森の働きの話)

田川郡の山里に位置する川崎町立真崎小学校で6年生19人と先生2名を対象に森林インストラクター4名でクラフト作りや思い思いの森へのメッセージカード作りをしながら、「森の働き」の話を通じ、自然や森の大切さを伝えました。

まずは、ふくおか森林インストラクター会の紹介、会の使命である「森の案内人」を説明した後、山里で暮らす子どもたちには易しいと思われた「野鳥のクイズ」、野鳥の名前と嘴から想像する食べ物を当てるクイズです。題材はモズ、アオサギ、キツツキを取り上げましたが、6年生でも難しかったようです。私たちの時代よりはるかに森、川へ遊びに出かけることが少なくなっているように感じました。もっと自然と触れ合う企画を考えなければならぬと思いました。



子どもたちと打ち解けたところで、クラフト作りに入りました。まずは、クラフトの作り方と安全対策を伝えた後、5班に分かれて工作を開始しました。最上級生との自覚があるのか、既に森の構想は出来上がっていたようです。クラフト作りも早く、しかも素晴らしいアイデアが時間とともに台座一杯に詰め込まれていきました。男の子は大きく、勇ましい勇壮な森、女の子は可愛らしい妖精が暮らすような飾り付けがなされた森へと台座が変身していました。完成後は自宅から持参してきた葉っぱに森へのメッセージを添えたカード作り。小学校時代の思い出にしたいのか、言葉を選んで書き綴っていました。



続いて子どもたちに伝えなければならない「森の働き」の話です。世界の森が伐採されて消えていっている現状を説明し、最近の大雨による土砂崩れはこの伐採が原因であることを明かすと皆、うなずいてくれました。



最後の振り返りで「今日のクラフト作りは楽しかったですか」と質問に対し、「今日は森を大事にすることを学びました。今後も森を大切にいきます」と締めくくってくれて、今日の環境教育を終了しました。(スタッフ:宮本、高田、大森、中村)